

履修の手引

令和 6（2024）年度
徳島大学大学院創成科学研究科
地域創成専攻・臨床心理学専攻

令和 6（2024）年度 創成科学研究科地域創成専攻・臨床心理学専攻
年間行事予定表

前 期（4月1日～9月30日）

春期休業	4月1日(月) から 4月4日(木)
新入生オリエンテーション	4月4日(木)
入学式	4月5日(金)
授業開始	4月10日(水)
履修登録期間（Web登録期間）	4月2日(火) から 4月16日(火)
履修登録確認期間（Web修正期間）	4月17日(水) から 5月2日(木)
授業振替日（月曜日）	5月8日(水)
履修登録確認期限（履修登録修正願提出期限）	5月10日(金)
学位論文（修士）提出期限（9月修了）	7月1日(月)
授業振替日（月曜日）	7月18日(木)
総括授業・定期試験	7月23日(火) から 8月5日(月)
夏季休業	8月10日(土) から 8月31日(土)
修了式（9月修了）	9月下旬

後 期（10月1日～3月31日）

履修登録期間（Web登録期間）	9月19日(木) から 9月27日(金)
履修登録確認期間（Web修正期間）	9月28日(土) から 10月21日(月)
授業開始	10月1日(火)
授業振替日（月曜日）	10月17日(木)
履修登録確認期限（履修登録修正願提出期限）	10月30日(水)
授業振替日（月曜日）	11月6日(水)
開学記念日	11月2日(土)
大学祭	11月2日(土) から 11月3日(日)
冬季休業	12月25日(水) から 1月7日(火)
授業振替日（月曜日）	1月14日(火)
大学入学共通テスト会場設営のため休業	1月17日(金)
学位論文（修士）提出期限（3月修了）	2月3日(月)
総括授業・定期試験	1月27日(月) から 2月7日(金)
修了式	3月25日(火)
学年末休業	3月26日(水) から 3月31日(月)

目 次

担当教員一覧	1
学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	2
教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）	4
修了要件	6
履修・研究指導のスケジュール	7
履修科目の登録	8
成績評価基準（大学院）	13
入学前の既修得単位の認定について	14
長期にわたる教育課程の履修について	14
社会人受入のための夜間開講について	14
トランスファラブルスキルについて	15
学生生活の基本事項	16
臨床心理士受験資格に関する履修科目について	21
公認心理師受験資格に関する履修科目について	22
とくしま創生人材教育プログラム（COC+R プログラム）について	23
規則集	25
建物配置図等	26
学年暦	33

徳島大学では、皆さんが充実した学生生活を送ることができるように、様々な支援体制をとっています。この冊子によく目を通し、有意義な学生生活を送るための参考にしてください。

なお、奨学金制度などについては学務部発行の『学生生活の手引』にも詳しく紹介されていますので、併せてよく読んでおいてください。

担 当 教 員 一 覧

地域創成専攻

職名	教員氏名	研究室
教 授	饗 場 和 彦	3M16
	荒 武 達 朗	2N07
	石 田 基 広	1 S 18
	衣 川 仁	2N02
	佐久間 亮	2N22
	佐 藤 充 宏	2M11
	佐 原 理	2号-E201
	高 橋 晋 一	1 S 21
	田 口 太 郎	2号-E206
	段 野 聡 子	3M15
	堤 和 博	2N17
	豊 田 哲 也	1 S 25
	中 村 豊	1 S 27
	三 浦 哉	2M17
	村 上 敬 一	2N19
	矢 部 拓 也	1 S 23
	山 口 裕 之	1N18
	山 田 仁 子	1N13
	依 岡 隆 児	2N21
准 教 授	新 田 元 規	2N04
	上 原 克 之	3M18
	カイザー メイガン レネー	2N11
	掛 井 秀 一	2号-E204
	河 田 和 子	2N18
	河原崎 貴 光	2号-E205
	熊 坂 元 大	1N11
	小田切 康 彦	3M23
	シートゲス オラフ	1N09
	田 中 佳	2N24
	趙 彤	3M21
	内 藤 直 樹	1 S 28
	中 島 浩 二	2N15
	中 塚 健太郎	2M14
	夏 目 宗 幸	1 S 10
	廣 野 誠	3M17
	武 学 穎	3M22
	マッケンディ タニャ	2M23
	山 内 暁 彦	2N10
	山 口 博 史	1 S 19
講 師	吉 田 文 美	1N10
	羅 成 圭	2N05
	渡 邊 克 典	1 S 22
	石 原 由 貴	2号-E203

臨床心理学専攻

職名	教員氏名	研究室
教 授	内 海 千 種	3M09
	佐 藤 健 二	3号-3S05
	佐 藤 裕	2M10
准 教 授	榎 本 拓 哉	3号-3S06
	甲 田 宗 良	3号-3S02
	津 村 秀 樹	3号-3S03
	福 森 崇 貴	3号-3S08
	山 本 哲 也	3号-3S04
	横 谷 謙 次	3号-3S01

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

○創成科学研究科

創成科学研究科博士前期課程では、次に掲げる目標を達成した学生に修士の学位を授与する。

1. 学識と研究能力及び高度専門職業能力

幅広い教養と論理的思考を備え、専門分野において明確な問題意識を持ちつつ研究を進める能力に加え、科学・技術・産業・社会の諸領域において専門的な職業に従事できる高度な能力、かつ新たな価値を創成できる能力を有する。

2. 豊かな人格と教養及び自発的意欲

コミュニケーションを通して豊かな人間関係を築きながら高い倫理観・責任感を身につけ、知性、理性及び感性が調和し、自立して行動できる。

3. 国際的発信力及び社会貢献

世界水準を目指す研究成果の発信により、地域を発展させる新たな価値の創成に貢献することができる。

◇地域創成専攻

地域創成専攻では、次に掲げる目標を達成した学生に修士の学位を授与する。

1. 学識と研究能力及び高度専門職業能力

人文・社会・人間科学分野における高度な専門知識と関連領域における幅広い知識、論理的思考力を備え、総合的かつグローバルな視点に基づき、明確な問題意識を持ち専門分野における研究を進める能力に加え、地域課題の解決と、持続可能な地域社会の創成に主体的に貢献できる高度な実践能力を有する。

2. 豊かな人格と教養及び自発的意欲

コミュニケーションを通して豊かな人間関係を築きながら高い倫理観・責任感を身につけ、知性、理性及び感性が調和し、自立して行動できる。

3. 国際的発信力及び社会貢献

現代の地域や社会に見られる諸問題を人文・社会・人間科学とその関連領域の幅広い視点からの的確に分析し、その解決に向けて世界水準を目指す研究成果を発信する能力を備えるとともに、持続可能な地域社会の創成に主体的に貢献する能力を有する。

◇臨床心理学専攻

臨床心理学専攻では、次に掲げる目標を達成した学生に修士の学位を授与する。

1. 学識と研究能力及び高度専門職業能力

臨床心理学の諸分野における高度な専門的知識と汎用的知識、関連領域における幅広い知識と論理

的思考力，総合的かつグローバルな視点を備え，臨床心理学の諸分野において明確な問題意識を持ち研究を進める能力に加え，心の健康の回復と保持増進に係る専門的な職業に従事できる高度な能力を有する。

2. 豊かな人格と教養及び自発的意欲

コミュニケーションを通して豊かな人間関係を築きながら高い倫理観・責任感を身につけ，知性・理性及び感性が調和し，自立して行動できる。

3. 国際的発信力及び社会貢献

地域社会において生じている心の健康の諸問題を臨床心理学の観点から分析でき，その解決に向けて世界水準を目指す研究成果を発信する能力を備えるとともに，心の健康の回復と保持増進に貢献できる能力を有する。

教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)

○創成科学研究科

創成科学研究科博士前期課程では、学位授与の方針で示す能力を持った人材を養成するために、以下の方針で教育課程を編成・実施する。

1. 教育課程の編成と教育方法

(1) 学識と研究能力及び高度専門職業能力

専攻分野に関する高度の専門的知識と能力を修得させる授業科目、及び当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養することができる授業科目とによって教育課程を編成し、学識と研究能力及び高度専門職業能力に加え、科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値を創成できる能力が修得できる機会を提供する。

(2) 豊かな人格と教養及び自発的意欲

修士論文作成に係る研究指導体制を整備した体系的な教育課程を編成し、コミュニケーションを通して豊かな人格と教養及び自発的な意欲を育む機会を提供する。

(3) 国際的発信力及び社会貢献

修士論文作成に係る研究指導体制を整備した体系的な教育課程を編成し、世界水準を目指す研究成果を発信する能力及び社会に貢献できる能力が涵養できる機会を提供する。

2. 学修成果の評価

客観性及び厳格性を確保するため、学生に対して成績評価基準をあらかじめ明示し、当該基準に基づいて厳格な評価を行い、修士論文の審査及び最終試験を適切に行う。

◇地域創成専攻

地域創成専攻では、学位授与の方針で示す能力を持った人材を養成するために、以下の方針で教育課程を編成・実施する。

1. 教育課程の編成と教育方法

学位授与の方針を実現するために、最終的に修士論文作成に係る研究指導体制に集約できるように整備した編成の教育課程と教育方法とする。

(1) 学識と研究能力及び高度専門職業能力

幅広い知識と論理的思考力を備え、総合的かつグローバルな視点に基づき研究を進め、持続可能な地域社会の創成に主体的に貢献できる高度な実践能力を涵養するために、研究分野を超えた幅広い知識とグローバルな視点を修得させる授業科目、応用・実践テーマに基づく分野横断的な授業科目、論理的思考力を身につけさせる授業科目、グローバル化を含む地域課題の理解と解決に係る専門知識・技能を修得させる授業科目を体系的に編成する。

(2) 豊かな人格と教養及び自発的意欲

コミュニケーションを通して高い倫理観・責任感を身につけ、自立して行動できる能力を涵養

するために、地域のアクターとの連携に基づく実践的な課題解決型の授業科目、および幅広い知識を学ばせ視野を広げる授業科目を開設する。

(3) 国際的発信力及び社会貢献

現代の地域や社会に見られる諸問題の解決に向けて世界水準を目指す研究成果を発信する能力、持続可能な地域社会の創成に主体的に貢献する能力を涵養するために、多面的な視点を踏まえ、学術的・社会的意義を持つ研究成果を修士論文としてまとめあげ、広く発信する能力を身につけさせる授業科目を開設する。

2. 学修成果の評価

客観性及び厳格性を確保するため、学生に対して成績評価基準をあらかじめ明示し、当該基準に基づき厳格な評価を行い、修士論文の審査及び最終試験を適切に行う。

◇臨床心理学専攻

臨床心理学専攻では、学位授与の方針で示す能力を持った人材を養成するために、以下の方針で教育課程を編成・実施する。

1. 教育課程の編成と教育方法

学位授与の方針を実現するために、最終的に修士論文作成に係る研究指導体制に集約できるように整備した編成の教育課程と教育方法とする。

(1) 学識と研究能力及び高度専門職業能力

幅広い知識と論理的思考力を備え、総合的かつグローバルな視点に基づき研究を進め、心の健康の回復と保持増進に主体的に貢献できる高度な実践能力を涵養するために、研究分野を超えた幅広い知識とグローバルな視点を修得させる授業科目、応用・実践テーマに基づく分野横断的な授業科目、論理的思考力を身につけさせる授業科目、心の健康の回復と保持増進に係る専門知識・技能を修得させる授業科目を体系的に編成する。

(2) 豊かな人格と教養及び自発的意欲

コミュニケーションを通して高い倫理観・責任感を身につけ、自立して行動できる能力を涵養するために、臨床心理学の理論と実践に関わる授業科目、および幅広い知識を学ばせ視野を広げる授業科目を開設する。

(3) 国際的発信力及び社会貢献

地域社会において生じている心の健康の諸問題を臨床心理学の観点から分析でき、その解決に向けて世界水準を目指す研究成果を発信する能力、心の健康の回復と保持増進に貢献できる能力を涵養するために、多面的な視点を踏まえ研究成果を修士論文としてまとめあげ、広く発信する能力を身につけさせる授業科目を開設する。

2. 学修成果の評価

客観性及び厳格性を確保するため、学生に対して成績評価基準をあらかじめ明示し、当該基準に基づき厳格な評価を行い、修士論文の審査及び最終試験を適切に行う。

修 了 要 件

大学院に2年以上在学し，以下に指定する単位を修得し，かつ必要な研究指導を受けた上で，修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

修了に必要な単位数

・各専攻において修了に必要な単位数は下表のとおりです。

専攻名	単 位 数		
	必修科目	選択科目	計
地 域 創 成 専 攻	16 単位	16 単位以上	32 単位以上
臨床心理学専攻	28 単位	16 単位以上	44 単位以上

履修・研究指導のスケジュール

学年	学期	時 期	内 容	
1 年	前期	4 月	新入生オリエンテーション・履修ガイダンス	↑
		4 月	指導教員願の提出	
		4 月	履修計画の検討	
		4 月	地域創成プロジェクト研究の選択 ※地域創成専攻のみ	
		4 月	教育クラスターの選択	
		4 月	履修登録	
		4 月	研究指導計画書・報告書作成	
		4～6 月	研究計画の立案	
		6 月末	研究計画書の提出	
		7 月末	前期末試験	
	後期	10月	履修計画の検討	
		10月	履修登録	
		10月	研究指導計画書・報告書作成	
		1 月	研究活動チェックリストの作成	
		2 月初	後期末試験	研究活動
		2 月	研究指導計画書・報告書提出	
		2 月頃	修士論文中間発表会（公聴会形式）	
		2 月頃	地域創成プロジェクト研究成果発表会 ※地域創成専攻のみ	
2 年	前期	4 月	履修計画の検討	
		4 月	履修登録	
		4 月	研究指導計画書・報告書作成	
		4 月	研究計画書（修正版）の提出	
		7 月末	前期末試験	
	後期	10月	履修計画の検討	
		10月	履修登録	
		10月	研究指導計画書・報告書作成	
		1 月	研究活動チェックリストの作成	
		1 月	研究指導計画書・報告書提出	
		2 月初	後期末試験	
		2 月初	修士論文提出及び学位請求手続き	
		2 月	学位論文審査及び最終試験（公聴会形式）	
		3 月	課程修了・学位取得	↓

履修科目の登録

授業の履修登録は、教務システムで行ってください。指導教員の指導を受けて受講科目を決定し、研究室、図書館、総合科学部情報実習室または各自所有のパソコンから指定された日までに登録してください。操作方法是、教務システムのトップページ内の「マニュアル」というリンクをクリックしてダウンロードしてください。

なお、履修登録後に履修科目を変更する場合は、履修登録確認期間に教務システムから修正してください。履修登録確認期間を過ぎて変更する場合は、「受講科目登録修正願」を学務係に提出してください。

教務システム：徳島大学総合科学部 HP > 在校生の方へ > 徳島大学システムサービス一覧

<https://www.ias.tokushima-u.ac.jp/>

履修科目の選択にあたって

- ・履修する授業科目の選択に当たっては、各専攻の履修モデルを参照の上、あらかじめ定める指導教員（直接研究指導に当たる教員をいう。以下同じ。）の指導を受けてください。

教育クラスターについて

本研究科では、産業界・社会のニーズ（重要課題）に対応した研究に基づく分野横断型教育プログラム（教育クラスター）を設定しています。学生は、原則として各専攻が履修を推奨する教育クラスターの中から、学修したいテーマに沿った教育クラスターを1つ選択し学修を進めます。

○：各専攻が履修を推奨する教育クラスター

教育クラスター	地域創成専攻	臨床心理学専攻
1. フォトニクス		
2. 防災・危機管理	○	○
3. 地域開発	○	
4. 環境・エネルギー		
5. メディカルサイエンス	○	○
6. ロボティクス・人間支援	○	○
7. データサイエンス	○	
8. 機能性材料		
9. 環境共生	○	
10. 農工連携		
11. 応用生物資源		
12. 食品科学		
13. 6次産業	○	

◇地域創成専攻

修了に必要な単位数一覧表

科 目 名		単 位 数		
		必 修	選 択	計
研究科共通科目	研究科基盤教育科目 (データサイエンス)	2	—	4 以上
	グローバル教育科目群	—	1 以上	
	イノベーション教育科目群	—	1 以上	
専攻基盤科目		5	—	5
専攻専門科目		—	8 以上	8 以上
教育クラスター科目	自専攻提供科目	—	※	6 以上
	他専攻提供科目	—	2 以上	
学位論文指導科目		9	—	9
合 計		16	16 以上	32 以上

- ・研究科共通科目の必修科目（研究科基盤教育科目）は、データサイエンス 2 単位を修得してください。研究科共通科目の選択科目は、グローバル教育科目群及びイノベーション教育科目群からそれぞれ 1 単位以上修得してください。
- ・専攻基盤科目は、地域創成論 1 単位、地域創成プロジェクト研究 3 単位、アカデミック・ライティング 1 単位、計 5 単位を修得してください。
- ・専攻専門科目は、8 単位以上を修得してください。
- ・教育クラスター科目は、選択した教育クラスターから 6 単位以上（うち自専攻以外の提供科目から 2 単位以上）を修得してください。（※）
- ・選択した教育クラスターに含まれていない他専攻の科目を修得した場合は、自由科目として計上されます。自由科目の単位は、修了に必要な単位に含めることはできません。
- ・専攻専門科目又は教育クラスター科目として、地域系科目、グローバル系科目を各 2 単位以上修得してください。
- ・学位論文指導科目は、地域創成特別演習 8 単位、領域横断セミナー 1 単位、計 9 単位を修得してください。地域創成特別演習は、指導教員の指導の下で修得することになります。

授業科目及び単位数一覧表（地域創成専攻）

科目区分		授業科目の名称	単位数	
			必修	選択
研究科共通科目	研究科基盤教育科目	データサイエンス	2	
	グローバル教育科目群	国際協力論		1
		グローバル社会文化論		1
		グローバルコミュニケーションA		1
		グローバルコミュニケーションB		1
		グローバルコミュニケーションC		1
	イノベーション教育科目群	科学技術論A		1
		科学技術論B		1
		科学技術論C		1
		科学技術論D		1
		科学技術論E		1
		ビジネスモデル特論		1
		デザイン思考演習		1
		地域企業エクスターンシップ		1
		実践型地域インターンシップ		1
専攻基盤科目		地域創成論	1	
		地域創成プロジェクト研究	3	
		アカデミック・ライティング	1	

科目区分		授業科目の名称	単位数	
			必修	選択
専攻専門科目・教育クラスター科目	地域系科目	地域計画学特論		2
		地域社会特論		2
		公共政策特論		2
		法律学特論		2
		経済学特論		2
		地域構造特論		2
		空間情報科学特論		2
		地域文化特論		2
		地域言語特論		2
		日本歴史文化特論		2
		アート表現特論		2
		映像デザイン特論		2
		空間デザイン特論		2
		健康社会特論		2
		応用生理学特論		2
		福祉社会特論		2
		行動科学		2
		健康科学特論		2
		健康心理学特論		2
		運動栄養学特論		2
		地域産業創生特論		2
		芸術工学デザイン特論		2
		マーケティング特論		2
	グローバル系科目	グローバル社会特論		2
		グローバル文化特論		2
		国際関係特論		2
		国際経済特論		2
		応用倫理学特論		2
		言語コミュニケーション特論		2
		英語圏文化特論		2
		英語圏歴史文化特論		2
		ヨーロッパ文化特論		2
		アジア文化特論		2
		日本言語文化特論		2
		日本文化特論		2
学位論文指導科目		地域創成特別演習 #	8	
		領域横断セミナー #	1	

備考

・授業科目欄の（#）印の授業科目は、科目等履修生は履修できません。

◇臨床心理学専攻

修了に必要な単位数一覧表

科 目 名		単 位 数		
		必 修	選 択	計
研究科共通科目	研究科基盤教育科目 (データサイエンス)	2	—	4 以上
	グローバル教育科目群	—	1 以上	
	イノベーション教育科目群	—	1 以上	
専攻専門科目	必修科目	16	—	16
	選択科目	—	8 以上	8 以上
教育クラスター科目	自専攻提供科目	—	※	6 以上
	他専攻提供科目	—	2 以上	
学位論文指導科目		10	—	10
合 計		28	16 以上	44 以上

- ・研究科共通科目の選択科目は、グローバル教育科目群及びイノベーション教育科目群からそれぞれ 1 単位以上修得してください。
- ・専攻専門科目の選択科目は、8 単位以上修得してください。
- ・教育クラスター科目は、選択した教育クラスターから 6 単位以上（うち自専攻以外の提供科目から 2 単位以上）を修得してください。（※）
- ・自由科目の単位は、修了に必要な単位に含めることはできません。
- ・選択した教育クラスターに含まれていない他専攻の科目を修得した場合は、自由科目として計上されます。
- ・学位論文指導科目は、臨床心理学特別演習 8 単位、臨床心理分野横断セミナー 2 単位、計 10 単位を修得してください。臨床心理学特別演習は、指導教員の指導の下で修得することになります。
- ・臨床心理士受験資格に関する履修科目について（p21）を熟読し、履修計画を立ててください。
- ・臨床心理士受験資格に関する科目のうち、必修科目については「A」の単位修得ができなければ、「B」を履修することはできません。
- ・公認心理師受験資格の取得を目指す場合は、公認心理師受験資格に関する履修科目について（p22）を熟読し、履修計画を立ててください。
- ・公認心理師独自科目は、自由科目扱いとなり、修了に必要な単位に含めることはできません。

なお、臨床心理実習 A（心理実践実習Ⅱ）、心理実践実習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵを履修するためには、心理実践実習Ⅰおよび臨床心理基礎実習 A・B の単位修得ができていなければなりません。

授業科目及び単位数一覧表（臨床心理学専攻）

科目区分		授業科目の名称	単位数		
			必修	選択	自由
研究科共通科目	研究科基盤教育科目	データサイエンス	2		
	グローバル教育科目群	国際協力論		1	
		グローバル社会文化論		1	
		グローバルコミュニケーションA		1	
		グローバルコミュニケーションB		1	
		グローバルコミュニケーションC		1	
	イノベーション教育科目群	科学技術論A		1	
		科学技術論B		1	
		科学技術論C		1	
		科学技術論D		1	
		科学技術論E		1	
		ビジネスモデル特論		1	
		デザイン思考演習		1	
		地域企業エクスターンシップ		1	
		実践型地域インターンシップ		1	
専攻専門科目・教育クラスター科目	必修科目	臨床心理学特論A ※	2		
		臨床心理学特論B ※	2		
		臨床心理面接特論A（心理支援に関する理論と実践）※	2		
		臨床心理面接特論B ※	2		
		臨床心理査定演習A（心理的アセスメントに関する理論と実践）※	2		
		臨床心理査定演習B ※	2		
		臨床心理基礎実習A ※	1		
		臨床心理基礎実習B ※	1		
		臨床心理実習A（心理実践実習Ⅱ）※	1		
		臨床心理実習B ※	1		
	選択科目	認知心理学特論		2	
		認知心理学特論演習 ※		2	
		生涯発達心理学特論 ※		2	
		社会心理学特論 ※		2	
		精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）※		2	
		障害臨床心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）※		2	
		心理療法特論※※		2	
		臨床心理的地域援助特論※※		2	
学位論文指導科目		臨床心理学特別演習#	8		
		臨床心理分野横断セミナー#	2		

科目区分		授業科目の名称	単位数		
			必修	選択	自由
専攻専門科目・教育クラスター科目	自由科目	学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）			2
		犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）※			2
		産業・労働分野に関する理論と支援の展開			2
		家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）			2
		心の健康教育に関する理論と実践			2
		心理実践実習Ⅰ ※			1
		心理実践実習Ⅲ ※			2
		心理実践実習Ⅳ ※			2
		心理実践実習Ⅴ ※			2
		心理実践実習Ⅵ ※			2

備考

- ・授業科目欄の（*）印の授業科目は、臨床心理学専攻大学院生以外は履修できません。
- ・授業科目欄の（※）印の授業科目は、専門科目のみの授業科目を示す。
- ・授業科目欄の（#）印の授業科目は、科目等履修生は履修できません。

成績評価基準（大学院）

徳島大学（大学院）における、成績評価基準及び成績証明書等に記載する表示（「成績表示」という。）は次のとおりです。

なお、授業科目毎の成績評価方法、基準等はシラバスに記載しています。

合否	成績表示	評価点の範囲	基準
合格	S (Outstanding)	100 ～ 90	科目の到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を収めている。
	A (Excellent)	89 ～ 80	科目の到達目標を十分に達成している。
	B (Good)	79 ～ 70	科目の到達目標を達成している。
	C (Fair)	69 ～ 60	科目の到達目標を最低限達成している。
	認 (Qualified)	認定	単位認定：修了要件を満たす単位数となる。
不合格	D (Fail)	59 以下	科目の到達目標の項目の全てまたはほとんどを達成していない。

*上表の到達目標とは、授業科目のシラバスに明記された到達目標を指す。

学修生活について

成績に疑義があれば、総合科学部事務課学務係に申し出てください。その他、日々の学修の中で困ったことがあれば、授業担当教員のほか総合科学部事務課学務係でも相談を受け付けています。

【成績の疑義申立てについて】

成績に関する疑義については、成績の通知日から1週間以内、ただし1週間後の同日が休業日である場合は、休業日明けの最初の平日までに学務係に申し出てください。

申し出後の授業担当教員の対応に疑義がある場合は、文書により根拠を明示して学務係を通じて専攻教務・入学試験委員会に申し出ることができます。ただし、疑義の申し出ができるのは、以下の場合に限るものとします。

- ① 成績の誤記入など、明らかに授業担当教員の誤りであると思われるもの。
- ② シラバスに記載されている到達目標、成績評価方法・基準などから、明らかに成績評価について疑義があると思われるもの。

単位の基準について

講義及び演習は15時間、実習・実験は30時間の授業をもって1単位とします。

ただし、臨床心理学専攻の実習は45時間の授業をもって1単位とします。

入学前の既修得単位の認定について

本研究科へ入学する前に本学の大学院又は他の大学院において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む）を、入学後の単位として認定を希望する者は、「既修得単位認定願」を学務係に提出してください。ただし、認定できる単位数は15単位を超えることはできません。

長期にわたる教育課程の履修について

職業等を有している等の事情により、標準修業年限を越えて一定期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する者には、審査のうえ長期にわたる教育課程の履修を許可する制度があります。長期履修できる期間は博士前期課程においては4年以内で、標準修業年限2年間の授業料と同額を、許可された期間に分割して納入することとなります。希望する者は所定の期間内に申請してください。

◎申請時期

博士前期課程 入学手続時

第1年次の前期（7月頃揭示）

第1年次の後期（12月頃揭示）

社会人受入のための夜間開講について

近年の経済社会の発展や技術革新の進展等により、大学院に対する社会の要請が一層多様かつ高度となっており、特に社会人の再教育に対する需要は急速な高まりを見せています。

しかし、大学院において学習したいという意欲を持ちつつも、勤務時間の都合上昼間の学習が難しい社会人の方は多数おられます。また、企業や官公庁等の立場からも、昼間に社員等を大学院に派遣することのできないところもあります。

本研究科は、これら企業や官公庁等、また、社会人の学習ニーズに柔軟にこたえるために社会人を積極的に受け入れ、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を適用し、講義を夕夜間の時間帯にも開講して社会人学生の受講に便宜を図っています。

トランスファラブルスキルについて

大学院において身につけた高度な専門性を有する知識や能力を発揮し、社会で成果をあげるためには、専門分野における知識や技能及び倫理観をはじめとする態度の修得に加えて、求められる状況に転移し、応用することができる能力が必要になります。そのような能力を「トランスファラブルスキル」といいます。徳島大学では、「徳島大学版トランスファラブルスキル」を定めており、教育プログラムの中で、体系的にトランスファラブルスキルの育成を行っています。

＜徳島大学におけるトランスファラブルスキル＞

- (1) 高度な知識や技術、社会的課題を扱う際の判断力と責任感
- (2) 異なる分野や領域の課題に関心を持ち自身の専門性を発揮する力
- (3) 自身の研究を他者に伝えるコミュニケーション力やプレゼンテーション力
- (4) 自身の研究と社会や地域とのつながりを見出す力

トランスファラブルスキル対応表

徳島大学 トランスファラブルスキル	地域創成専攻	臨床心理学専攻
1. 高度な知識や技術、社会的課題を扱う際の判断力と責任感	地域創成論 地域創成プロジェクト研究	臨床心理学特別演習 臨床心理分野横断セミナー
2. 異なる分野や領域の課題に関心を持ち自身の専門性を発揮する力	地域創成プロジェクト研究 領域横断セミナー	臨床心理学特別演習 臨床心理分野横断セミナー
3. 自身の研究を他者に伝えるコミュニケーション力やプレゼンテーション力	地域創成論 地域創成プロジェクト研究 領域横断セミナー	臨床心理学特別演習 臨床心理分野横断セミナー
4. 自身の研究と社会や地域とのつながりを見出す力	地域創成論 地域創成プロジェクト研究	臨床心理学特別演習 臨床心理分野横断セミナー

就職活動等でトランスファラブルスキル修得証明書が必要な方は、学務係に申し出てください。

学生生活の基本事項

事務室の窓口業務時間（各窓口共通）

【平日昼間（土・日・祝日・夏季一斉休業期間・年末年始期間を除く）】

8：30～17：15（12：00～13：00を除く）

総合科学部事務課学務係（総合科学部1号館1階）の所掌事項

1. 学生の履修、成績管理、その他学修上の手続きに関すること

学生への連絡方法／大学の連絡先

皆さんに対する通知や連絡（講義室の変更、試験、休講、呼び出しなど）は、すべて掲示もしくはシステム等によって伝えられます。常に所定の掲示板（総合科学部学務係前）と学生用教務システムや授業で使用しているe-Learningシステム等を一日に一回は必ず見るようにして、自己に不利な結果を招かないように注意してください。また、総合科学部のホームページ（<https://www.ias.tokushima-u.ac.jp/>）にも重要な事項が掲載されています。

緊急連絡が必要な場合等には、学務係まで連絡してください。

総合科学部事務課学務係（総合科学部1号館1階） TEL.088－656－7108

FAX.088－656－9314 E-mail. skgakumk@tokushima-u.ac.jp

研究指導願の提出について

地域創成専攻・臨床心理学専攻では、主指導教員1名、副指導教員1～2名、アドバイザー教員1名からなる複数教員指導体制を取っています。主指導教員とは、直接研究指導に当たる特別演習担当の教員を指し、学生の研究テーマに関し、学位論文の作成を指導します。副指導教員は、主指導教員を補助して学生の研究指導を行います。アドバイザー教員は、研究指導は行わず、客観的な立場で大学における学修・生活支援を行います。なお、研究テーマに対する多角的な視点、アプローチからの助言を通して、より独創的な研究成果を生み出すため、副指導教員のうち少なくとも1名は他専攻の専任教員を選任することとしています。「研究指導願」に主指導教員・副指導教員・アドバイザー教員等の必要事項を記入し、4月の指定された日までに総合科学部学務係に提出してください。

主指導教員・副指導教員・アドバイザー教員の変更を希望する場合は、関係の指導教員等とも相談の上、1年次末までに「指導教員変更願」を学務係に提出してください。ただし、専攻長が特別に認める者についてはこの限りではありません。

研究計画書

指導教員等の指導のもと、具体的な研究計画を記した「研究計画書」を毎年度初めに作成し、1年次生は6月末までに、2年次生は4月下旬までに学務係に提出してください。

研究指導計画書・報告書

学生と指導教員等が、研究の進捗状況を相互に確認しつつ、研究を着実に成長・深化させるため、定期的な面談の実施と、研究の過程や面談内容を記録した「研究指導計画書・報告書」の作成・提出をお願いしています。指導教員・副指導教員・アドバイザー教員との面談は、少なくとも半期に1回行い、教員はその内容を研究指導計画書・報告書に簡潔に記録します。研究指導計画書・報告書は、学年末（2年次生は学位論文提出時）に学務係へ提出してください。

研究活動におけるチェックリスト

研究活動が適切な手続きにより公正に進められていることを確認するため、毎年1月1日を基準日として、「研究活動におけるチェックリスト」を各自作成し、指導教員に提出してください（毎年提出が必要です）。チェックリストは指導教員が保管しますが、学位論文提出に際して指導教員から受け取り、学位論文とともに学務係に提出してください。

研究倫理に関する教育プログラムの受講

研究倫理を遵守することは、学生を含め、研究に携わる者の社会的責任と言えます。徳島大学では、全ての学生がeラーニングによる研究倫理教育プログラム（eAPRIN）の受講を義務づけられており、地域創成専攻・臨床心理学専攻では、4月の入学後に受講します。

院生研究室

院生研究室は、学部のコース毎に準備された学生研究室に隣接する場所にあります（巻末の建物配置図を参照）。

2. 学籍管理に関すること

現住所が変更になった場合は教務システムの学籍情報から更新してください。

保証人（保護者等）の変更や住所・連絡先変更の場合は、ただちに「保証人住所・保証人変更届」を届け出てください。

3. 学位申請に関すること

4. 学生の休学・復学及び退学等に関する手続き

5. 講義室の管理に関すること

講義室の使用状況は、徳島大学総合科学部のホームページで確認できます。本学公認の部活動やサークル及び授業等に関する活動の場合は、教室の予約・利用が可能ですので、必ず使用予定日の前日までに学務係で申請してください。ただし、試験期間中は教室の予約・利用はできません。

6. ティーチング・アシスタントに関すること

T・A（ティーチング・アシスタント）とは

優秀な大学院の学生に対し、教育的配慮の下に教育補助業務を行わせ、これに対する手当支給に

より、大学院学生の処遇の改善に資するとともに大学教育の充実及び指導者としてのトレーニングの機会提供を図ることを目的としています。採用に当たっては指導教員の承認が必要です。

7. 各種証明書の発行申請

和 文 (日本語)	成績証明書※	必要とする日の3日前までに申請をしてください (土、日、祝日を除く)
	在学証明書※	
	修了見込証明書※	
	修了証明書	
	その他の証明書	必要とする日の7日前までに申請をしてください
英 文	英文証明書	(土、日、祝日を除く)

※在学中は、学務部（教養教育4号館1階）の証明書自動発行機にて発行可能です。

従来の証明書自動発行機での発行に加えて、コンビニエンスストアで一部の証明書が発行できるサービス（有料）を開始しています。発行方法などの詳細については、ホームページに掲載しています。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/campus/process/convenience/>

総合科学部事務課総務係（総合科学部1号館1階）の所掌事項

1. 学会参加補助費に関すること

学会参加について、1回当たり5千円程度の補助を行っています。補助については、毎年度6月、9月、12月、3月（四半期毎）に指導教員から周知・案内されることになっています。

また、総合科学部事務課総務係の掲示板にも案内が掲示されますので、確認するようにしてください。

2. 資格取得支援事業

学生の専門知識・技能の向上、キャリア支援を目的として、資格取得支援事業を実施しています。対象の資格・申請方法については総合科学部事務課総務係で確認してください。

3. 交通規制に関すること

交通事故防止のため、構内では自動車、オートバイ等の走行及び駐車、駐輪を次のように規制しています。

1. 許可車を除く、自動車、オートバイの構内走行を禁止しています。
2. オートバイ、自転車はそれぞれ指定の場所に駐輪してください。

交通が不便で、かつ通学距離が片道10km以上で公共交通機関による通学が著しく不便である者等は、所定の期間内に駐車許可申請書を総合科学部事務課総務係（1号館1階）へ提出してください。審査のうえ駐車許可証を交付します。

◎ 自動車駐車許可申請の掲示 4月上旬

学務部（教養教育 4 号館 1 階）の所掌事項

1. 各種証明書

学校学生生徒旅客運賃割引証※，通学証明書，学生証，健康診断証明書，在学証明書※，成績証明書※，修了見込証明書※

※証明書自動発行機にて発行可能です。

学生証の交付

学生証は，本学の学生であることを証明するもので，附属図書館等の入退館カード，図書館利用証（貸出），定期健診診断の受付，各種証明書の発行の機能があります。また，生協電子マネー Supica や生協ミールプランの機能も利用できます。大切な物なので，紛失しないよう注意してください。

本証を紛失したときは，生協電子マネー Supica 等の不正利用を防止するため，生協事務所（088－652－1073）に連絡し，生協電子マネー Supica 等の利用停止手続きを行ってください。期間更新，氏名変更等による再交付は無料ですが，汚損又は紛失による場合は有料（1,100 円）となります。

上記に係る「再発行の申請」手続きは，学務部教育支援課教務情報係で行ってください。

2. 各種奨学金に関すること

人物・学業ともに特に優れ，かつ健康であり，大学院において研究を継続するために，奨学金が必要と認められる学生に対しては，選考のうえ，日本学生支援機構から奨学金が貸与されます。また，その他の奨学生募集についてもそのつど掲示します。教務システムの「お知らせ」や掲示板をこまめに確認し，見落としのないよう注意してください。大学院において第一種奨学金の貸与を受けた学生であり，貸与期間中に特に優れた業績を挙げた者に関しては，専攻分野に関する論文やその他の文部科学省令で定める業績を総合的に評価することにより，貸与期間終了時に返還免除が受けられる場合があります。

なお，奨学金制度などについては学務部発行の『学生生活の手引』にも詳しく紹介されていますので，併せてよくお読みください。

3. 入学科及び授業料免除に関すること

経済的理由により授業料の納付が困難で，かつ，人物・学業成績ともに優れていると認められる者には，選考のうえ，授業料の全額又は半額が免除されることがあります。授業料免除を希望する学生は，申請書類をご準備のうえ，所定の期間内に提出してください。

※申請期間等については，本学ホームページ，教務システムのお知らせ等で通知します。

申請期間を過ぎてからの受付はできませんので，ご注意ください。

4. 学生の健康管理に関すること

総合相談部門は，学生からのあらゆる相談，修学・履修，進路・就職，人間関係，精神的な問題，法律関係やキャンパス・ハラスメントなど，悩みや問題が大きくなる前に，お話を聞きながら少し

でも悩みや問題が軽減できるよう一緒に考えていきます。秘密は厳守されますので、安心して相談してください。

常三島：教養教育5号館1階 開室時間：月～金 8：30～17：15

蔵 本：蔵本会館2階 開室時間：月 12：00～17：15、火～金 8：30～17：15

TEL. 088 - 656 - 7637 メール hsc.counseling@tokushima-u.ac.jp

5. 学生教育研究災害傷害保険に関すること

この保険は、学生が教育研究活動中及び通学中等に、不慮の災害事故により身体に傷害（ケガ）を被った場合の災害補償制度です。（詳しくは約款によります）

事故発生の日から30日以内に事故通知報告用紙（学生支援係にあります）により保険会社へ通知が必要です。必要事項を記入のうえ、学生支援係へ提出してください。

6. 学生の就職に関すること

総合科学部では独自に就活サポート室を設けており、エントリーシートや履歴書の添削をはじめ、模擬面接や企業紹介など様々な支援を行っています。また、キャリア支援室でも同様の支援を行っており、相談日以外でも随時キャリア支援室のコーディネーターがみなさんの相談に応じます。そのほかOB・OG紹介や就職関係図書の貸出等も行っておりますのでお気軽に問い合わせてください。

◎総合科学部就活サポート室（総合科学部1号館中棟3階）

開室時間：火曜日10：00～17：00、水曜日13：00～17：00

TEL：088 - 656 - 7158 E-mail：syukatu@tokushima-u.ac.jp

◎キャリア支援室（教養教育4号館1階）

開室時間：8：30～17：15

TEL：088 - 656 - 7635 E-mail：gkseisyu@tokushima-u.ac.jp

附属図書館について (<https://www.lib.tokushima-u.ac.jp/>)

本学常三島キャンパスに本館、蔵本キャンパスに蔵本分館があり、相互に連携を保ちながら、本学の教育・研究の自主学習の場として幅広く利用されています。

◎開館日・開館時間……授業期間中は原則として毎日開館しています。

	授 業 期		休 業 期	
	月 ～ 金	土・日・祝	月 ～ 金	土
本 館	8時30分～22時	10時～17時	8時30分～17時	10時～17時
蔵本分館	8時30分～21時	10時～17時	8時30分～17時	10時～17時

詳しくは、図書館ホームページのカレンダーをご覧ください。

◎休 館 日

毎月第2金曜日の午前中（4、7、1、2月を除く）、学生休業期間中の日曜日・祝日、5月の連休、8月の徳島大学一斉休業日、年末年始12月28日～1月4日

臨床心理士受験資格に関する履修科目について

臨床心理学専攻は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会から、臨床心理士の資格試験に関する受験資格を有する大学院（第一種）として指定されています。

臨床心理士を目指す方は、受験に必要な次の授業科目の単位を修得してください。

区分		開設授業科目	単位数	履修方法
必修		臨床心理学特論 A	2	臨床心理学特論として、4 単位必修
		臨床心理学特論 B	2	
		臨床心理面接特論 A（心理支援に関する理論と実践）	2	臨床心理面接特論として、4 単位必修
		臨床心理面接特論 B	2	
		臨床心理査定演習 A（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2	臨床心理査定演習として、4 単位必修
		臨床心理査定演習 B	2	
		臨床心理基礎実習 A	1	臨床心理基礎実習として、2 単位必修
		臨床心理基礎実習 B	1	
		臨床心理実習 A（心理実践実習Ⅱ）	1	臨床心理実習として、2 単位必修
		臨床心理実習 B	1	
選択必修	A 群	行動科学	2	A 群の中から 2 単位以上選択必修
		認知心理学特論演習	2	
	B 群	認知心理学特論	2	B 群の中から 2 単位以上選択必修
		生涯発達心理学特論	2	
	C 群	社会心理学特論	2	C 群の中から 2 単位以上選択必修
		家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2	
	D 群	精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	2	D 群の中から 2 単位以上選択必修
		障害臨床心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2	
	E 群	心理療法特論	2	E 群の中から 2 単位以上選択必修
		臨床心理的地域援助特論	2	

（注）必修 10 科目（16 単位）はすべて履修してください。また、選択必修は各群（A、B、C、D、E）からそれぞれ 2 単位以上、計 10 単位以上を修得し、合わせて合計 26 単位以上を修得してください。

公認心理師受験資格に関する履修科目について

臨床心理学専攻は、公認心理師カリキュラムに対応しています。公認心理師を目指す方は、受験に必要な次の授業科目の単位を修得してください。なお、心理実践実習の時間数は、Ⅰ～Ⅵを合わせて450時間以上となります。

開 設 授 業 科 目	単位数
精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	2
障害臨床心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2
学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）●	2
犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）●	2
産業・労働分野に関する理論と支援の展開 ●	2
臨床心理査定演習A（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2
臨床心理面接特論A（心理支援に関する理論と実践）	2
家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）●	2
心の健康教育に関する理論と実践 ●	2
心理実践実習Ⅰ ●	1
臨床心理実習A（心理実践実習Ⅱ）	1
心理実践実習Ⅲ ●	2
心理実践実習Ⅳ ●	2
心理実践実習Ⅴ ●	2
心理実践実習Ⅵ ●	2

備考

- ・公認心理師受験資格に関する科目のうち、心理実践実習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵを履修するためには、心理実践実習Ⅰおよび臨床心理基礎実習A・Bの単位修得ができていなければなりません。
- ・開設授業科目欄の（●）印の授業科目は、公認心理師独自科目（自由科目）であり、修了に必要な単位に含めることはできません。

とくしま創生人材教育プログラム (COC+R プログラム) について

- ・本教育プログラムは、文部科学省「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業 (COC+R 事業)」に令和2年度に採択され、令和3年度入学生から開始している徳島大学独自の教育プログラムです。
- ・地域を創生する能力と素養を育成するための特別のプログラムです。
- ・徳島の地域で将来性のある企業で活躍できる職に就くため、また、行政などでまちづくりや地域の開発を担う技術者やリーダーとなるため、大学時代に地域の多様な企業や行政の仕事、OB / OG などの方々と知りあうことなど、皆さんにとって大きな力を身に付ける機会となります。徳島で働くことに興味のある人はぜひ履修してください。

履修プログラムの流れ 以下の2つの分野の履修をします。

★★ 地域学習・実習科目の履修 ★★

地域の先進的な業種で活躍するための実践力を身に付ける科目です。

1) 地域企業エクスターンシップ 研究科共通 1単位

徳島県内の主要な分野の企業・行政の経営者・OB/OG と学内での対話、半日の訪問をします。

県内で働くことに関心のある人は、まずこの科目を履修してください。

研究科共通のイノベーション教育科目 (1単位選択必修) の科目です。

2) 実践型地域インターンシップ 研究科共通 1単位

企業や地域の課題解決を実践するプロジェクト型のインターンシップです。

下記は各専攻で開設されているインターンシップ、実習科目です。

3) 地域創成プロジェクト研究 地域創成専攻 3単位

4) インターンシップ (M) 理工学専攻 2単位

5) 課題解決型インターンシップ (M) 理工学専攻 4単位

6) 心理実践実習Ⅳ, Ⅴ, Ⅵ 臨床心理学専攻 各2単位

7) 徳島の魅力・徳島で働く 前期夏期集中 (8月)

四国大学・徳島文理大学・阿南高専との共同で行う授業です。徳島県内で活躍するリーダーやOB/OGを講師に迎えて、働く経験やメリットを学びます。他大学の学生とワークショップで地域創生を考えます。

※7)は学部の教養教育院の提供科目です。修了要件には含まれませんが、徳島で働くことを希望している人は授業の聴講をお勧めします。内容の一部の聴講も可能です。

★★ 基礎力育成科目の履修 ★★

地域で活躍するための基礎力を身に付ける科目です。

自分に関心あるテーマを履修してください。科目は今後追加されることがあります。

共通科目

データサイエンス 創成科学研究科共通科目 必修2単位

テーマ1 情報処理 (データサイエンス)

1) 科学技術論C 創成科学研究科共通科目 1単位

2) アプリケーション実装実習 理工学専攻 2単位

テーマ2 マネジメント (プロジェクト管理)

1) ビジネスモデル特論 創成科学研究科共通科目 1単位

2) プロジェクトマネジメント 理工学専攻 2単位

テーマ3 デザイン・コミュニケーション

1) デザイン思考演習 創成科学研究科共通科目 1単位

2) 映像デザイン特論 地域創成専攻 2単位

自分が関心のある一つの分野を選び、集中して履修することを推奨します。なお、上記科目（一部を除く）は他専攻の学生も履修できます。また、上記分野に類する科目の履修も認定されることがあります。

COC+R プログラム履修登録

徳島で将来働きたいと考えている人は、COC+R プログラムの履修登録をしてください。プログラム履修は地域学習・実習科目（上記の1）～6）いずれか1科目）を履修もしくは聴講した人が対象です。登録は2年生後期に対象者に通知してWEBサイトで行います。

プログラム履修者には以下のような支援・特典があります。

○とくしまでのつながりイベントなどの情報提供

徳島で働く先輩などとつながりがつくれたり、地域の企業の情報が得られる多彩なイベント、セミナーなどの情報を提供します。

○専門外の資格取得支援

プログラム履修者には、就職等に有利な、自分の専門分野以外の資格取得を支援します。

○履修証明、地域クリエイター・マイレージ・ポイント（略称：地域クリエイターポイント）

下記のような就職時にポートフォリオとして示せる証明がもらえます。

1) プログラム修了者

地域学習・実習科目のうち1科目以上を履修し、地域学習・実習科目と基礎力育成科目から合計3科目以上を履修した人はプログラム履修修了者として認定します。

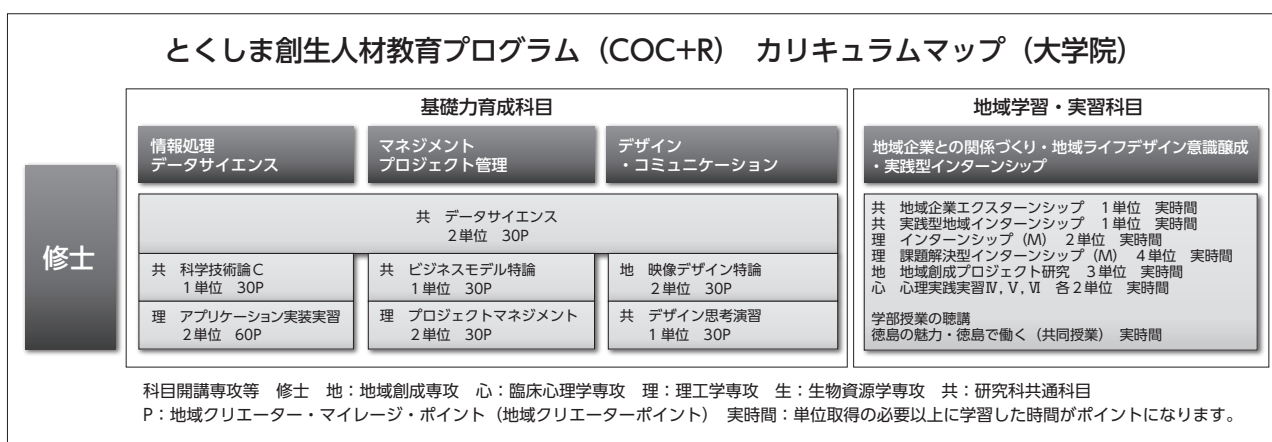
2) 地域クリエイター・マイレージ・ポイント（地域クリエイターポイント）の認証

プログラム履修者には、上記科目の履修時間数およびCOC+R 事業関連のイベント、セミナー、会社訪問等への出席を地域クリエイターポイントとして付与します。取得状況を示す書面が専用WEBサイトから入手できます。

3) 地域クリエイター表彰

高い地域クリエイターポイントを取得した学生は徳島県知事・徳島大学長名で表彰されます。地域ポイント取得上位者3名に表彰状と副賞を交付します。

また、一定以上のポイントを取得した者には徳島大学長名の表彰状と副賞を交付します。



上記で示されている科目以外にも履修認定され、地域クリエイターポイントにカウントされる科目があります。

詳しくは、プログラムサイトに掲載します。地域クリエイター表彰を目指してください。

規 則 集

関係する規則は下記のとおりです。

HP で閲覧できますので、確認してください。

規則集掲載 URL：<https://www.ias.tokushima-u.ac.jp/entry/#tebiki>

徳島大学総合科学部→在校生の方へ→履修の手引き

ご自身の対象年度の「大学院履修の手引き（規則集）」をご覧ください。



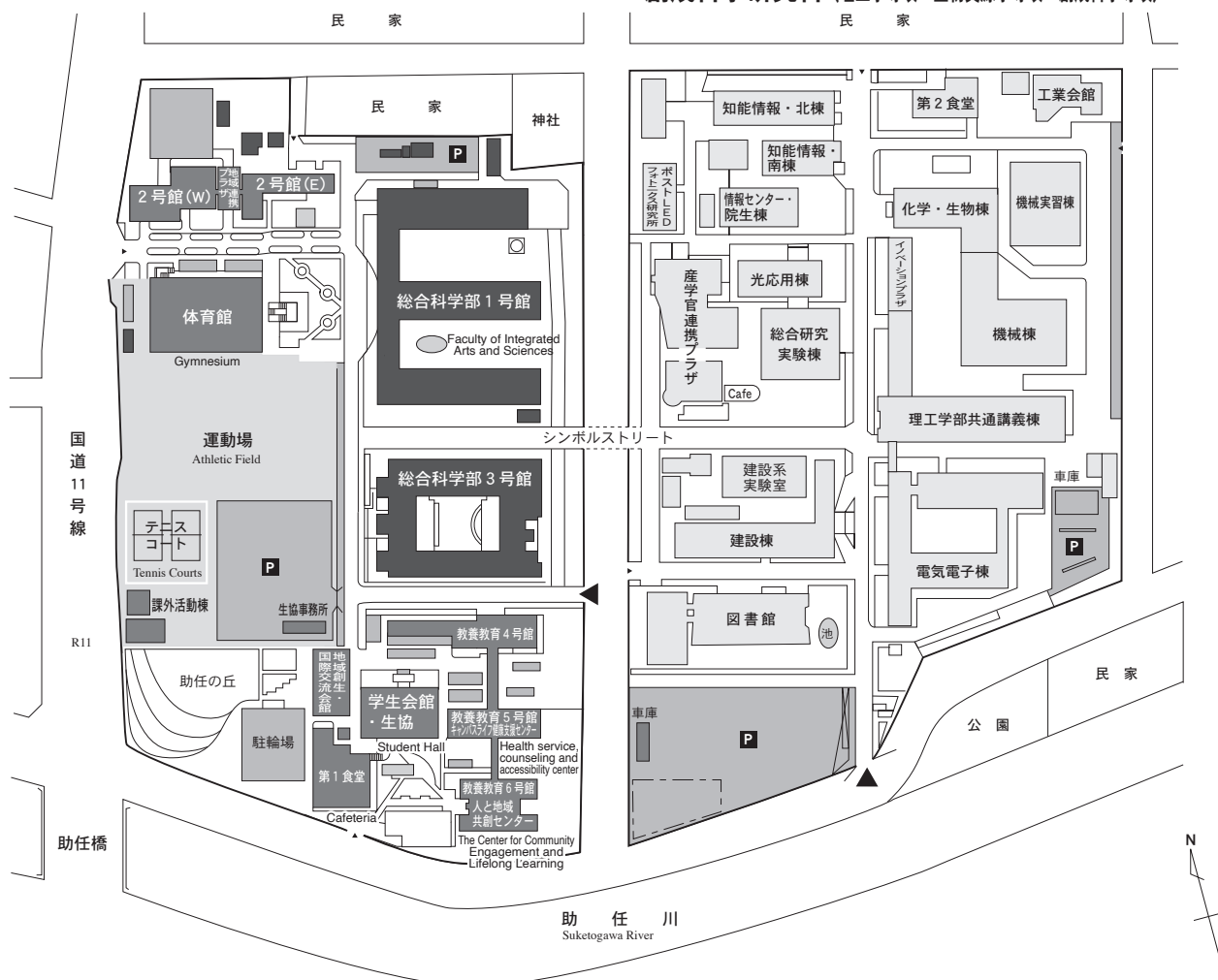
- 1 徳島大学大学院学則
- 2 徳島大学学位規則
- 3 徳島大学大学院創成科学研究科規則
- 4 徳島大学大学院創成科学研究科地域創成専攻における授業科目の履修方法に関する細則
- 5 徳島大学大学院創成科学研究科臨床心理学専攻における授業科目の履修方法に関する細則
- 6 徳島大学大学院創成科学研究科学位規則実施細則
- 7 徳島大学大学院創成科学研究科地域創成専攻修士論文審査委員に関する申合せ
- 8 徳島大学大学院創成科学研究科臨床心理学専攻修士論文審査委員に関する申合せ
- 9 徳島大学大学院創成科学研究科地域創成専攻学位論文審査基準
- 10 徳島大学大学院創成科学研究科臨床心理学専攻学位論文審査基準
- 11 徳島大学大学院創成科学研究科臨床心理学専攻における公認心理師試験の受験資格を取得するために必要な授業科目の履修に関する細則
- 12 徳島大学大学院創成科学研究科博士前期課程において優れた研究業績を上げた者の期間短縮修了に関する要項
- 13 徳島大学大学院創成科学研究科博士前期課程地域創成専攻において優れた研究業績を上げた者の期間短縮修了に関する申合せ
- 14 徳島大学大学院創成科学研究科における長期にわたる教育課程の履修に関する規則
- 15 徳島大学大学院創成科学研究科地域創成専攻における長期にわたる教育課程の履修に関する細則
- 16 徳島大学大学院創成科学研究科臨床心理学専攻における長期にわたる教育課程の履修に関する細則
- 17 気象警報が発令された場合の休講措置

キャンパスマップ

● 常三島キャンパス

総合科学部 大学院総合科学教育部
創成科学研究科 (地域創成専攻・臨床心理学専攻・創成科学専攻)

理工学部 大学院先端技術科学教育部
生物資源産業学部
創成科学研究科 (理工学専攻・生物資源学専攻・創成科学専攻)



令和6(2024)年度 創成科学研究科地域創成専攻・臨床心理学専攻学年暦

4月	日	月	火	水	木	金	土	5月	日	月	火	水	木	金	土	6月	日	月	火	水	木	金	土	
				1	2	3	4		5					1	2		3	4						1
	7	8	9	10	11	12	13		12	13	14	15	16	17	18		9	10	11	12	13	14	15	
	14	15	16	17	18	19	20		19	20	21	22	23	24	25		16	17	18	19	20	21	22	
7月								8月								9月								
	14	15	16	17	18	19	20		11	12	13	14	15	16	17		15	16	17	18	19	20	21	
	21	22	23	24	25	26	27		18	19	20	21	22	23	24		22	23	24	25	26	27	28	
	28	29	30						25	26	27	28	29	30	31		29	30						
10月								11月								12月								
	6	7	8	9	10	11	12		3	4	5	6	7	8	9		8	9	10	11	12	13	14	
	13	14	15	16	17	18	19		10	11	12	13	14	15	16		15	16	17	18	19	20	21	
	20	21	22	23	24	25	26		17	18	19	20	21	22	23		22	23	24	25	26	27	28	
1月								2月								3月								
	27	28	29	30	31				24	25	26	27	28	29	30		29	30	31					
1月								2月								3月								

凡 例

- ……春季，夏季，冬季，学年末休暇等
- ……新入生オリエンテーション
- ……総括授業・定期試験期間
- ///

……追再試期間
- ……開学記念日
- ……入学試験等
- ……入学式・修了式
- ……祝祭日
- ……大学祭

※（ ）の数字は授業回数を示す。

大学への問い合わせ及び緊急連絡先

○徳島大学総合科学部事務課学務係

T E L 088-656-7108

F A X 088-656-9314

